

# 9月のコース管理データ

コース名称	札幌GC輪厚コース	レインボーヒルズGC	泉CC	コムウッドGC	三木GC	宇部72CC江畑池	阿蘇プリンスホテルゴルフ場			
グリーンキーパー氏名	梶原 隆司	安藤 義雄	寺町 章	向居 捷洋	的場 幸治	河野 藤男	布山 光孝			
所在地	北海道	宮城県	千葉県	滋賀県	兵庫県	山口県	熊本県			
ホール数	18	18	27	18	27	18	36			
開場年月日	1958/8/12	1992/6/8	1979/9/5	1993/4/25	1973/10/27	2000/11/1	1990/8/5			
標高(m)	100~132	60	23	258	150	80	555~480			
芝地管理面積(m <sup>2</sup> )	710,000	600,000	690,000	567,369	530,000	365,000	955,577			
その他管理対象面積	44,000	145,000	350,000	433,000	350,000	200,000	858,284			
従業員数	6	8	6	6		8	延べ126人			
パート・アルバイト	16	2	11	4		8	63			
外注	あり	なし	あり	あり		有(必要時)	12			
内容	ティグラウンド改造、ハザード改修		年間樹木管理、除草剤散布	樹木管理		樹木維持管理 枯木伐採 コース草刈 簡易土木工事	秋季除草剤、ラージパッチ 防除剤混用散布			
気温(右平年差)	17.0	18.7	-1.1	22.5	0.0	22.9	-0.3			
降水量mm(右平年差)	72.0	143.0	53.4	221.5	47.0	134.5	185.4			
晴天日数	20	18	13	15	19	20	12			
曇天日数	7	6	7	8	5	7	10			
雨天日数	3	6	10	7	6	3	8			
降雪日数										
基礎データ	<p>ANAオープンに向けた管理を行う大会終了後は、秋季更新作業に向けた管理を行う大会期間は雨が降らず、大変助かった。</p> <p>8月の乾燥状態から一転し、まとまった雨が続き、フェアウェイにはカーブリア葉枯れ病が多発している。シバントの発生もあり注意が必要だ。グリーンはドライスポットの後遺症と葉の発生にお芽数が少なくなり、状態が良くない。</p> <p>9月になって、涼しくなり、両ペント共、下旬から秋の更新作業に着手した。夏を無事に乗り切り、ほとんども無事な範囲内で外注を使わずに済んだ。</p> <p>又、洋芝ティグラウンドにペントのインタ・シードと同じ要領で(但し、使用タインと工程等は変更した)播種作業を行った。大変、作業性も良く、発芽状況も良い。今後、この方法を確立していけばインタ・シードはもっと普及すると思う。</p> <p>厳しい残暑を予想していたが、9月は秋風が吹き、涼しく、湿度の少ない天候となった。最低気温は20を下回り、最高気温は30を切った。中、下旬は最高気温が26、最低気温が16と温度差10前後で10月の天候かと思うほどだ。</p> <p>初旬はドライスポットなど乾燥害に注意したが、降雨が定期的であり、中旬にはグリーンの更新もタイミングよく実施することができた。病害虫等の問題もなく、今の所順調な生育状態にある。</p> <p>ティ、フェアウェイは特別な問題はなく、一部のラフでヨウが活動しており、スポッ的に対応している。</p> <p>9月前半の天候は、雨が少なく最低気温20を下回る日が多くなり、秋の訪れが早いと感じたが、逆に後半は雨がまとまり降らないという状況だった。最低気温は低いものの、最高気温は27~28を記録する日が続いた。9月10日前後に予定していたグリーンのエアーレーションを雨予報のために延期したが結局中止となった。</p> <p>この時期のグリーン更新作業は、グリーンの状態や天候、さらに10月の倶楽部選手権開催など競技も控えていることから、作業が制約される要因が多く、更新作業実施の判断が非常に難しい。</p> <p>ティグラウンドとスレーザグリーンでは、上旬の降雨と気温の低下でラージパッチの発生が早まると予想し、グリーンにエアーレーションの代替作業として9月11日からセンターフを全面散布したが、9月後半の天候を考えると、やや早すぎたと感じている。</p> <p>グリーンはイエロータフトによる模様肥料を入れてもまだ残る。また、乾燥害による枯れが、所どころある(補植中)。虫害に関しては被害が出はじめてから処置した。ティグラウンドとフェアウェイは更新作業(バーチカルカット)により荒れており、お客様には大変迷惑をかけている。なお、17日に台風が接近したため落ち葉がラフに散乱し、雑木が倒れる被害もあったが、被害程度は軽微であった。</p> <p>台風13号は、最も被害が大きくなるルートを通じたが、降水量65mm、風による倒木被害もなく、小枝の散乱を片付ける程度で営業態勢には、影響はなかった。しかし、緻密な気象情報の報道により、当日を含む前後3日間は多数のキャンセルにより大きな営業損失となった。台風以降は無降水日が続く。連日乾燥注意報のために手撒き散水が毎日の業務の中で重要な作業となった。来月も乾燥状況が続く見込みである。</p> <p>例年、8月末よりラフの林縁にワレモコウ、ミズヒキソウ等の野草を見つけると、長かった夏の終わりを感ぜ、盛夏のストレスを無事に乗り越えたペントグリーンに、もう少しの我慢であると思いを掛けたくなる。ところが、本年は梅雨以来の異常な気象状況の中、ペントグリーンが大きなダメージを受け、先月下旬には不良箇所への張り替え補修を余儀なくされ、9月の作業はグリーン関係の作業に多くの労力を要した。</p>									
課題・問題点	ラフを120~200mmに上げていたので、どれくらいまで刈り下げられるか。また、どれほどの日数が必要なのか、これは天候次第。効率の良い刈込方法があればご教授下さい。	ここ数年、グリーンの土壌、芝に活力が無いように感じられる。新芽の数が少なく、根張り悪いことから、10月、11月と土壌改良を計画している。今年も肥料設計にも問題があり、来年に向けて勉強をしていきたい。	今まで、コスト削減で管理機械等を出来る限り修理で対応し、我慢してきたが、ここに来て、修理不可能な機械が増えて困っている。定期的に先を考えた購入していけば良かったと思う。管理をアウトソーシングする会社も多いが、人材も含めて、中長期的な観点に立って管理をしていく事が大切であろう。	ラフの除草剤散布については、今年には特にヤハズソウの発生が多い。チドメグサ、ハマズメ、ヒメグサなどへの対応を含め施工したい。	その他では、冬期に向けた作業計画、排水工事等早目に対応したいと思っている。	グリーンについては、9月に中止したエアーレーションを10月に実施することは競技の関係から不可能。表面排水の悪化や根部の生育不良が懸念されるが、代わりにバーチカル・ムク刃の施工を計画している。	スレーザグリーンでは、春のラージパッチ対策が後手に回り、病害が発生したこともあり、早目の施工を実施したことから、10月は春はば対策を含めた施肥を計画している。	今年にはフェアウェイの更新作業(バーチカルカット)を実施したが、来年度はバーチカル無し及び抑制剤を使用しない方向で播種する方向で検討中である。	グリーンは、更新作業が優先作業となったため、すべての作業が後回しとなる。各エリアの刈込作業、清掃作業等が遅れ、コースのコンディションが著しく低下し、プレーヤーには多岐に渡り迷惑を掛ける状況となった。	
芝品種	ペント	ペント	ペント	ペント	ニミラ・CY-2	A-2	ペンクロス	トメント	クレンショー	ペンクロス(西コース)
造成・播種・張芝年	H5年に10面播種。H6年に10面張芝	新しいもので8年、古いもので27年	H3年5月	H3年5月	昭和54年	平成15年4月	平成4年5月	西:H10年張芝、南:H10播種、東:H11年播種	造成1998年4月。播種1999年4月~2000年4月	平成元年3月播種
刈高(mm)<メイン:サブ>	3.6~3.4		4.0	4.0	4.0	4.0	4.2~4.0	4.0~4.3	4.0	4.2
刈込回数<メイン:サブ>	毎日		11	24	毎日	毎日	毎日	28	27	30
更新作業内容			9/8:10mm抜き取り 9/19:目土	なし	コアリング8mm、目砂1回、転圧ローラ	コアリング8mm、目砂1回、転圧ローラ	バーチカル深度25mm、サツチング2mmダブ掛け、ムク刃10mm、目砂	バーチカル-1mmシングル1回	なし	目砂3回(砂厚合計1.38mm)、コアリング1回(13mm)
施肥・活性剤・抑制剤等			9/3:芝アミ2cc/m <sup>2</sup> 9/13:バイオボス150g/m <sup>2</sup> 9/22:ニトカルチャー5g/m <sup>2</sup>	9/4:芝アミ2cc/m <sup>2</sup> 9/19:ニトカルチャー5g/m <sup>2</sup>	N1.44-P2.88-K2.72、微量要素剤1回、テララ(スポット)	N1.44-P2.88-K2.72、微量要素剤1回、テララ(スポット)	グリーンリース3g/m <sup>2</sup> 、ク口ベース1.5g/m <sup>2</sup> 、カルシウム1g/m <sup>2</sup> (目砂時に)ツチエース35g/m <sup>2</sup> 、ピオグリーン30g/m <sup>2</sup>	N2.13-P0.95-K1.98(g/m <sup>2</sup> )	9/2:プリマックス0.05ml/m <sup>2</sup> 9/19:ネオハイグラス2号2g/m <sup>2</sup> 、ミカバイオ2ml/m <sup>2</sup> 9/26:ネオハイグラス4号0.5g/m <sup>2</sup> 、サンイグル1ml/m <sup>2</sup>	施肥5回(N3.54-P2.23-K2.94、Mg2.7、S3.2)、1回目施肥:液体ケイ酸カリの施用。2回目施肥:亜リン酸+海藻抽出植物ホルモンの混用散布。3回目施肥:フミン酸+動物性アミ酸液肥+シロ糖の混用散布。4回目施肥:コアリング後、ゼオライト+肉骨粉+植物性アミ酸+硫酸苦土+ヤシガラ活性炭(0.15%/m <sup>2</sup> )+4%有機スルホン酸100倍液、1%/m <sup>2</sup> の施用。5回目施肥:液体ケイ酸カリの施用
病害	なし	炭疽病、ビシウム	炭疽病、ビシウム、ドライスポット	ブラウンパッチ	なし	なし	炭疽病	イエローパッチ	ブラウンパッチ、ダラースポット	ブラウンパッチ、ダラースポット
病害程度		中	中	少々			少	少		少

	コース名称	札幌GC輪厚コース	レインボーヒルズGC	泉CC	コムウッドGC	三木GC	宇部72CC江畑池	阿蘇プリンスホテルゴルフ場			
グリーン	病害対策	ブラウンパッチ予防散布	9/3:カシマン1cc/m <sup>2</sup> 、グリーンピセット1g/m <sup>2</sup>	9/4:カシマン1cc/m <sup>2</sup> 、グリーンピセット1g/m <sup>2</sup>	殺菌剤1回	殺菌剤1回	なし	ダイブ0.25cc/m <sup>2</sup> 、ボディプロ0.5g/m <sup>2</sup>	なし	殺菌剤スポット散布4回	
	虫害	なし	なし	タマナヤガ、シバツガ			なし	タマナヤガ	シバツガ	一部にヨトウ、ツツガ、ケラ	
	虫害程度			少				少-中	多		
	虫害対策	なし	なし	9/14:フルスイング0.2g/m <sup>2</sup>	殺菌剤1回	殺菌剤1回	なし	ルーバン0.5g/m <sup>2</sup> 、リラークDF0.25g/m <sup>2</sup>	9/5:スミオン乳剤1ml/m <sup>2</sup>	殺菌剤散布2回	
	雑草	なし	なし	メシバ			なし	なし	メシバ	一部にアキメシバ、チドメ	
	雑草程度			少					少	少	
	雑草対策	なし	手取除草	手取除草				なし	手取除草	手取除草	
オーバーシード										10,365m <sup>2</sup> (13ホール)	
管理メモ			10月に更新作業を予定	藻類が少々。更新作業は10月初旬まで続く	更新作業後、順調な生育を見ている	更新作業後、順調な生育を見ている	根の生育があまり良くない。タマナヤガは、浸透移行性の殺菌剤がやはり効果が高い	乾燥害のため補植中(芝はナーセリーを使用)	ダメージの顕著な部分のターフの補修作業は先月のお盆明け後に開始し9日に完了。補修面積は約500m <sup>2</sup> に及び総面積の3.6%となったが、100%の補修状況ではなく、今後の回復を期待する部分もありベストの状況とは言いがたい。	例年であればキンモクセイの開花を確認後秋のコアリングを実施しているが、残暑の懸念もあったが週明けの12日より秋の更新作業を開始する。台風の通過後乾燥状態が続き、恐れていた状況となったが、更新作業の終了後に、最低気温も15度を下回り、23日にはキンモクセイも開花し、朝の芝刈りカスも増加し始めた。今回の更新作業では全ホールにL-93のインターシードを実施した。	
ティグラウンド	芝品種(左:レギュラータイ、右:バックタイ)	ベレニアルライグラス	ベレニアルライグラス	コウライ	一部ミッドサイト	ブルーグラス	コウライ	コウライ	コウライ	ベレニアルライグラス(アップロード)【ベース:ティフン】	コウライ、一部ベレニアルライグラス
	刈高(mm)	10.0	10.0	10.0	10.0	13.0	10.0	10.0	13.0	12.0	暖地型芝8mm、寒地型12mm
	刈込回数	1日置き		6	8	4	2	6	4	10	暖地型芝4回、寒地型芝6回
	更新作業内容			なし	なし	コアリング後にインターシード		部分的にエアレーション、目砂	なし	9/19:パーチカルカット・スライパー掛け	目砂1回(砂厚1.3mm)
	施肥・活性剤・抑制剤等			9/14:二重丸33g/m <sup>2</sup>	9/14:二重丸33g/m <sup>2</sup>	微量要素剤1回	N2.5-P0.5-K0.5、微量要素剤1回	ターフェース40g/m <sup>2</sup>	グリーンホスカ細粒40g/m <sup>2</sup>	9/8:プリマックス0.05ml/m <sup>2</sup>	寒地型芝:施肥1回(N2.25-P4.5-K4.25)
	病害	なし	なし	なし	なし		葉枯れ病	なし	フェアリーリング	なし	一部にラージパッチ
	病害程度						少々		少-中		
	病害対策	ブラウンパッチ予防	ブラウンパッチ予防	9/16:ベンレー0.5g/m <sup>2</sup> スポット散布	なし	殺菌剤1回			イカルガ0.25cc/m <sup>2</sup> (スポット散布)、セレンターフ0.25g/m <sup>2</sup> (全面)	なし	殺菌剤散布1回
	虫害	なし	なし	なし	なし	なし	なし	ミズ	なし	なし	一部にシバツガ
	虫害程度							少			
虫害対策	なし	なし	なし	なし	殺菌剤1回		なし	ビートルコップ0.125g/m <sup>2</sup> 、ルーバン0.5g/m <sup>2</sup>	なし	なし	
雑草	なし	なし	ヒメグサ	ヒメグサ、メシバ	なし	なし	チドメグサ			コニシクソウ	一部にチドメ、カヤツリ
雑草程度			少	少			少		中	少	
雑草対策	なし	なし	フルハウス0.1cc/m <sup>2</sup> +アージラン0.5cc/m <sup>2</sup> +インプールのDF0.03g/m <sup>2</sup> を全面散布	手取除草			なし			手取除草	土壌処理剤、茎葉処理剤混用散布
オーバーシード										ベレニアルライグラス(アップロード)	
管理メモ								リングに対してはイカルガをスポット処理したが、効果にバラツキがある	月初めの抑制剤散布(プリマックス液剤)の効果で刈り込み回数が少なくなった	概ね良好な状態であると判断されるが目砂の回数が少ない状況のため、ターフの厚みが不足していると感じられる。気温の低下とともに施肥は来月の下旬が限度と思われ、来春の芽だしを考慮して充分な量を施用したい。一部においてラージパッチが発生している。殺菌剤の散布遅れが原因である。	
フェアウェイ	芝品種	ベレニアルライグラス	コウライ	コウライ	コウライ	コウライ	コウライ	コウライ	ベレニアルライグラス(アップロード)【ベース:ティフン】	フツウコウライ	
	刈高(mm)		13.0	18.0		13.0	15.0	15.0	12.0	13.0	
	刈込回数	1日置き		6	10	6	4	10	4.3		
	更新作業内容		なし	なし	なし	なし	なし	なし	9/12-9/14:パーチカルカット・スライパー掛け 9/27-9/30:播種	なし	
	施肥・活性剤・抑制剤等	なし		9/20:スーパーユーキ30号10-10-10	なし		ターフェース40g/m <sup>2</sup>	高度化成403を35g/m <sup>2</sup>	9/5:プリマックス0.05ml/m <sup>2</sup>	なし	
	病害	なし		犬の足跡	葉枯れ病	なし		フェアリーリング	なし	一部にラージパッチ	
	病害程度			中				少-中			
	病害対策	ブラウンパッチ予防散布		9/19:ベンレー0.5g/m <sup>2</sup> スポット散布、ラージパッチ予防にイカルガ0.15cc/m <sup>2</sup> 全面散布	殺菌剤(スポット処理)			イカルガ0.25cc/m <sup>2</sup> (スポット散布)、セレンターフ0.25g/m <sup>2</sup> (全面)	なし	殺菌剤散布1回(除草剤と混用散布)	
虫害	なし		ヨトウ、シバツガ	ミズ、ツツガ			ミズ	なし	なし		
虫害程度			中				少				

コース名称	札幌GC輪厚コース	レインボーヒルズGC	泉CC	コムウッドGC	三木GC	宇部72CC江畑池	阿蘇プリンスホテルゴルフ場
虫害対策	なし	9/1~4:ダイアジノンSLゾルスポット散布	殺虫剤(スポット処理)	なし	ビートルコップ0.125g/m <sup>2</sup> (全面)	なし	なし
雑草	なし	タンポポ、ヒメグサ	なし	なし	ヤハズソウ	メシバ	一部にチトメ、カヤツリ
雑草程度	なし	少			(小型のものが)少~中	中	少
雑草対策	なし	カーブ0.25g/m <sup>2</sup> +インブール0.03g/m <sup>2</sup>		なし	刈込みで対応	手取除草	土壌処理剤、茎葉処理剤混用散布
オーバーシード	ベレニアルライグラス					ベレニアルライグラス(アップロード)	
管理メモ		害虫、カーブラリア菌により芝の落ち込み箇所がある				更新作業(バーチカル播種)が天候に恵まれ早く完了した。抑制剤(プリマックス液剤)効果を確認  現状では望ましいコンディションを維持する事が出来ない反省、来シーズンはフェアウェイ刈込み専任のアルバイトが確保できればと考えている。ティグラウンド同様に、ラージパッチが一部に発生した。除草剤散布と混用のため散布業者の作業タイミングが遅れた事が原因と思われる。17日、東コースに猪の被害発生、今年はいきなりフェアウェイに。	刈込み回数の増加によりターフの密度を向上させなければならぬ期間に、人手不足による刈込み回数の低下により刈込作業後のスライパー作業を余儀なくされ、かえって余分な労力を必要とした。
芝品種	ベレニアルライグラス	メシバ	メシバ	メシバ	メシバ	メシバ	メシバ
刈高(mm)	40~150		45	50	45	40~45	40
刈込回数		3	適宜	毎日	4	毎日	Aラフ1.1回、Bラフ0.4回
更新作業内容		なし	なし	なし	なし	なし	なし
施肥・活性剤・抑制剤等		9/20:スーパーユーキ30号10-10-10	なし	グリーンエース25g/m <sup>2</sup>	高度化成403を35g/m <sup>2</sup>	なし	なし
病害	なし	象の足跡、ラージパッチ	ラージパッチ	なし		なし	一部にラージパッチ
病害程度		少					
病害対策	なし	(ラージパッチ)イカルガ0.15cc/m <sup>2</sup> を散布予定	殺菌剤(スポット処理)	なし	セレンターフ0.25g/m <sup>2</sup> (平面ラフ全面)	なし	殺菌剤散布70,000m <sup>2</sup> (除草剤と混用散布)
虫害	なし	ヨトウ、シバトガ	ヨトウ	ヨトウムシ		なし	なし
虫害程度		少		少~中			
虫害対策	なし	ダイアジノンSLゾルスポット散布	殺虫剤(スポット処理)	ダイアジノン他をスポット散布	ビートルコップ0.125g/m <sup>2</sup> (平面ラフ全面)	なし	なし
雑草	なし	タンポポ、ヒメグサ、カタビラ	なし	ヒメグサ、ハマスゲ、ヤハズソウ、メジロカヤ		メジロカヤ	一部にチトメ、カヤツリ
雑草程度		中		少~中		多	中
雑草対策	なし	カーブ0.25g/m <sup>2</sup>	なし	秋季の除草剤散布で対応		今の所打つ手立てが手取りのみである	土壌処理剤、茎葉処理剤混用散布
管理メモ		特になし				カヤツリがどんどん野芝に広がりをを見せて来た	刈込み作業の遅れ、旺盛に繁茂する雑草への未対処と好ましくない状況であるが、今シーズンは害虫の顕著な発生もなく推移した。  刈込みの遅れはプレーの進行に影響を与え、好ましくないコンディションの1ヶ月だった。また、秋の施肥についても、散布の目安としている最低気温15以下が記録される日が出現し始めたが、他作業との関係から今月末実施となってしまい、来月の持ち越しとなった。このため十分な効果が期待できないのではと心配する状況となった。